

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 6 関東地整管内交通分析検討（その 2）業務		
業 務 概 要	本業務は、関東地方整備局管内の道路ネットワークについて分割配分・利用者均衡配分による将来交通量の推計を実施し、有効性の検討・分析を行う。また、交通流の変化や整備効果を確認するため、観光地の渋滞における道路交通状況等の検討・分析及び一般交通量調査のとりまとめを行うものである。		
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 岩崎 福久 埼玉県さいたま市中央区新都心 2 番地 1		
契 約 年 月 日	令和7年1月21日		
契 約 業 者 名	R 6 関東地整管内交通分析検討（その 2）業務 計量計画研究所・パシフィックコンサルタンツ・社会システム設計共同体		
契 約 業 者 の 住 所	東京都文京区後楽一丁目4番14号後楽森ビル12階		
契 約 金 額	39,985,000 円（税込み）		
予 定 価 格	39,985,000 円（税込み）		
随意契約によることとした理由	本業務は、関東地方整備局管内の道路ネットワークについて分割配分・利用者均衡配分による将来交通量の推計を実施し、有効性の検討・分析を行う。また、交通流の変化や整備効果を確認するため、観光地の渋滞における道路交通状況等の検討・分析及び一般交通量調査のとりまとめを行うものである。 本業務を遂行するためには、高度な技術力や経験を必要とすることから、配置予定技術者の経験及び能力に加え、「観光地域の交通特性に応じた課題の把握方法とその分析手法」について、技術提案を求めるため、簡易公募型に準じたプロポーザル方式（拡大型）により公募を行ったところ、1 者から参加表明書及び技術提案書が提出された。 技術提案書を審査した結果、R 6 関東地整管内交通分析検討（その 2）業務 計量計画研究所・パシフィックコンサルタンツ・社会システム設計共同体は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の経験・能力を備えており、また、「実施方針・実施フロー・工程計画・その他」の業務理解度、工程計画、その他について、業務の理解度や工程計画の妥当性が高く、有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、「特定テーマ」については、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が適切に整理され、提案内容に説得力がある。 上記より、R 6 関東地整管内交通分析検討（その 2）業務 計量計画研究所・パシフィックコンサルタンツ・社会システム設計共同体は、当該業務の実施にあたり適切と認められるため、契約を行うものである。		
業 務 場 所	関東地方整備局管内		
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務		
履 行 期 間 （ 自 ）	令和7年1月22日		
履 行 期 間 （ 至 ）	令和7年6月30日		
備 考	会計法 2 9 条の 3 第 4 項 予決令第 1 0 2 条の 4 第 3 号		
備考	公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。		